

## 事業承継について

### 1 中小企業の事業承継を取り巻く現状

#### (1) 中小企業の重要性

中小企業は我が国企業数の約 99%(小規模事業者は約 85%)、従業員数の約 69%(小規模事業者は約 22%)を占めており、地域経済・社会を支える存在として、また雇用の受け皿として極めて重要な役割を担っています。

#### (2) 経営者の高齢化

経営者の平均年齢は1990年の 54 歳から 2020 年には初めて 60 歳を超えました。

#### (3) 中小企業における事業承継の現状

##### ア 後継者確保の困難化

イ 親族外継承の増加 …… 親族内承継の割合約 35%、親族外承継の割合約 65%

#### (4) 早期取組の重要性

円滑な事業承継には、早期に事業承継計画を策定し、おおむね 60 歳頃には準備に着手することが望ましい。

#### (5) 企業の更なる成長・発展の機会としての事業承継

#### (6) 地域や業種等によって異なる事業承継の取組の進捗

### 2 事業承継の類型

#### (1) 親族内承継

事業承継全体に占める当承継の割合が急激に減少しています。

#### (2) 従業員承継

近年、割合は増えています。

#### (3) 社外への引継ぎ(M&A)

株式譲渡や事業譲渡等により社外の第三者に引き継がせる方法です。また、中小企業の M&A を専門に扱う民間の M&A 支援機関が増えてきており、国の支援機関も設置されてきています。

### 3 事業承継の構成要素

#### (1) 人(経営)の承継

①経営権 ②後継者の選定 ③後継者教育等

#### (2) 資産の承継

①株式 ②事業用資産(設備、不動産等) ③資金(運転資金、借入等)

(3) 知的資産の承継

①経営理念 ②知的財産権(特許等) ③取引先との人脈等 等

#### 4 支援機関

- (1) 吹田商工会議所
- (2) 大阪府事業承継・引継ぎ支援センター(大阪商工会議所内)
- (3) 大阪府よろず支援拠点(マイドーム大阪内)
- (4) 公益財団法人大阪産業局(マイドーム大阪内)

#### 5 事業承継の事例

- (1) 事業承継計画を策定した親族内承継の事例  
別紙1
- (2) 従業員承継の事例  
別紙2
- (3) M&Aによる同業種企業への事例  
別紙3